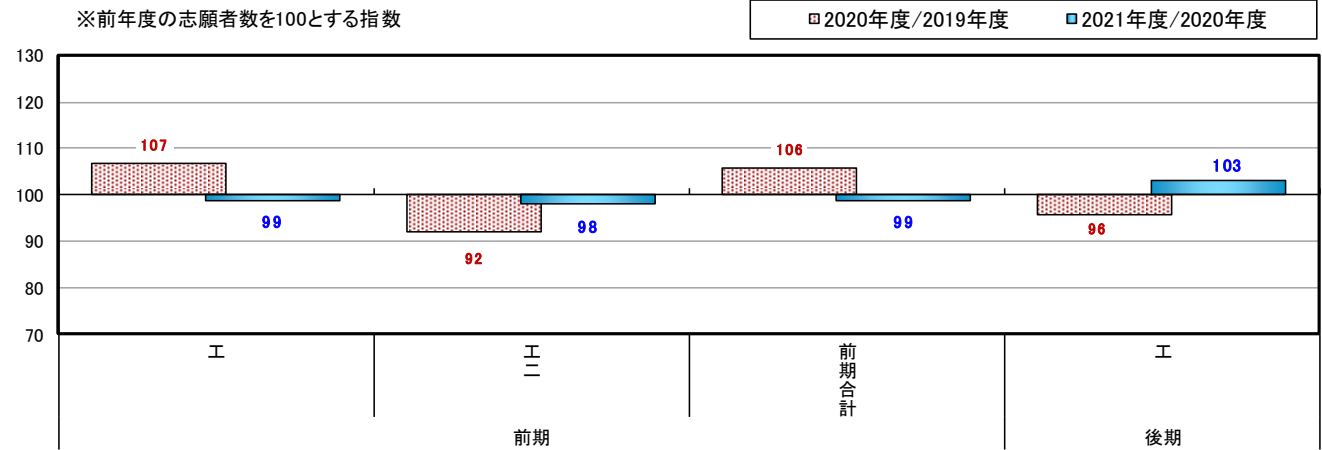


# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

**名古屋工業大：前期は微減、後期はやや増加**

**前期：-23人 後期：+66人**



**入試変更点** 募集人員：工(電気・機械工)〈前〉…110人→105人、〈後〉…70人→65人  
 提出書類：エントリーカード…工(創造工学教育課程)のみ提出→工(全学科・課程)、工二(全学科)が提出

**COMMENT** ※ ( ) 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は23人(99)の微減。工のみでも21人(99)の微減。大学全体および工はそれぞれ微減だが、2016年度の改組以降、翌年度から前年度の反動による増減が続いている。後期は工のみの募集で、前年度やや減少の反動で、66人(103)のやや増加。

**<前期日程>**  
 ○工(99)は、微減。学科・コース・分野別(以下、「募集単位別」)では、9募集単位中、(社会工/建築・デザイン)が前年度と志願者数が同数だったが、これを除くと増減が4募集単位ずつに分かれた。増加した募集単位では、(創造工学/情報・社会)(292)は前年度大幅減少、(社会工/環境都市)(264)は前年度激減、(創造工学/材料・エネルギー)(215)は2年連続大幅減少とこれらの反動によりいずれも倍増以上となった。一方で、減少した募集単位では(物理工)(68)、(生命応用化学)(79)がいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少となった。

**<後期日程>**  
 ○工(103)は、やや増加。学科・コース・分野別(以下、「募集単位別」)では、9募集単位中5募集単位が増加と増減はほぼ均衡した。増加した募集単位では、(創造工学/情報・社会)(214)は系統への高い人気から倍増以上の増加、(社会工/環境都市)(146)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(物理工)(142)は前年度大幅減少反動で40%以上の大幅増加となった。一方で、減少した募集単位では、(社会工/経営システム)(95)がやや減少だったが、他の3募集単位はいずれも10%を超える減少率だった。